

項目	説明	
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	急性骨髄性白血病に対する、同種移植後再発における2回目の同種移植の有効性と安全性に関する単施設観察研究
	研究対象者	初回同種移植後に再発をした急性骨髄性白血病に対して、2016年1月～2026年4月の期間に、当院で2回目の同種移植を施行した方が対象となります
	研究目的	急性骨髄性白血病に対する同種移植は、抗腫瘍効果の観点から最も強力な治療です。一方で、強力な移植前処置による毒性や、ドナー血由来の免疫反応によって重篤な副作用をきたすリスクも高く、移植関連死亡が問題になります。そのため、同種移植でしか根治が期待できない再発リスクの高い場合や、疾患や治療毒性によって正常血球の回復が期待できない場合に、同種移植が選択されます。 同種移植後の再発においては、新規の分子標的薬も含め、通常の化学療法での根治は期待できず、2回目の同種移植によってのみ根治する可能性があります。しかしながら、初回同種移植後を行っても再発しているということは、移植前処置や移植片対白血病効果などの抗腫瘍効果も限定的と見込まれます。また、初回同種移植による臓器障害や易感染性、移植片対宿主病の合併など、移植時の全身状態も初回時よりも不良と予想されます。こうした中で、どのような患者さんにとって2回目の同種移植が推奨されるのか、また、移植前処置は何を選択するのか最適であるかは、明確な基準はありません。 本研究では、初回同種移植後に再発をした急性骨髄性白血病に対しての、2回目の同種移植における有効性及び安全性を解析し、再発や移植関連死亡のリスク因子などの評価を行い、今後の再発時の治療戦略構築に貢献する実臨床データの創出を目指します。
	研究方法	研究対象者について、診療録および/またはデータベースより年齢、性別などの患者情報、疾患の情報、治療経過などの臨床情報を利用させていただきます
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西 暦 2 0 2 6 年 8 月 1 0 日 ～ 西 暦 2 0 3 0 年 1 2 月 3 1 日
	利用又は提供を開始する時期	[✓]総長が研究実施を許可した日 [] 西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[] 試料:	[] 血漿、[] 血清、[] 全血、[] 末梢血から抽出した DNA、 [] 病理検体(具体的に記載: _____)、 [] 尿、[] 糞便、[] 唾液、[] 胸水、[] 腹水、[] 脳脊髄液、 [] 毛髪、[] その他(具体的に記載: _____)
	[✓] 情報:	[✓] 診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[✓] 年齢、[] 生年月日、[✓] 性別、[] 既往歴、[✓] 併存疾患、[] 外来日・入院日・退院日、[✓] 臨床検査値、[] 放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[✓] 臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[] ゲノムデータ、[] 看護記録、[] その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	血液内科 小田祐貴
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	研究責任者：小田祐貴 連絡先：神奈川県立がんセンター 血液内科 住所 〒241-8515 神奈川県横浜市旭区中尾 2-3-2 電話番号 045-520-2222（代） 利用停止のお申し出は 2026 年 12 月 31 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	